

ジュウイチ

Cuculus fugax hyperthrus
Gould

カッコウ目
CUCULIFORMES
カッコウ科
Cuculidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 九州中央山地が繁殖南限で、祖母・傾山系、くじゅう連山は、ほぼ繁殖南限に位置する。生息数は、他のカッコウの仲間よりもかなり少ない。

県内分布 山地の他のカッコウの仲間よりも標高の高いところに生息する夏鳥。

分布域 北海道 本州 四国 九州中部以北の山地に夏鳥。
中国全域 東北部で繁殖。東南アジア全域で留鳥。

生息環境 低山から亜高山帯の落葉広葉樹林や針広混交林に生息し、おもに、コルリやオオルリおよび小型ヒタキ類に托卵する。樹冠部で毛虫を取って食べる。

現 状 年に5～10回程度の観察記録がある。

コミミズク

Asio flammeus flammeus
(Pontoppidan)

フクロウ目
STRIGIFORMES
フクロウ科
Strigidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 広いアシ原を持つ河川敷や湿った草地の面積が減少しているため、越冬個体数が大きく減少している。

県内分布 全域の草原、河川敷に飛来する冬鳥。

分布域 北海道 本州 四国 九州に飛来する冬鳥。
中国東北部、シベリアで繁殖。朝鮮半島、中国全域で冬鳥。

生息環境 広い河川敷のアシ原や湿った草原、開けた農耕地に生息し、ネズミなどを捕食する。

現 状 県内の越冬個体数は、数十羽程度と推定される。

備 考 ワシントン条約附属書Ⅱ

コノハズク

Otus scops japonicus
Temminck & Schlegel

フクロウ目
STRIGIFORMES
フクロウ科
Strigidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 生息数が少なく、さらに営巣環境の悪化により、生息数が減少している。

県内分布 全域の森林に生息する夏鳥。

分布域 北海道 本州 四国 九州の山地に夏鳥。
朝鮮半島、中国北部・東北部で繁殖。中国中部・南部、フィリピン、インドシナ半島で越冬。

生息環境 平地から山地の茂った林に夏鳥として生息し、樹洞で営巣する。夜行性で主に昆虫類を捕食する。

現 状 県内では、釈迦岳、黒岳、傾山、文殊仙寺などで観察記録がある。県内の繁殖期の個体数は、数十羽程度と推定される。

備 考 ワシントン条約附属書Ⅱ